



シオガマガク



ギンリョウソウ



ニョイスミレ



キヌガサソウ

飛騨高山まちの博物館
令和3年度 春の特別展

岐阜県博物館移動展

名前のヒミツ 教えます

— 植物に隠された物語 —



クルマユリ



コイブキアザミ



ハナイカダ



サギソウ



ツリガネニンジン



イチヨウラン

会期 2021 4/10(土)~6/6(日)

入館
無料

会場 飛騨高山まちの博物館 2階 特別展示室
岐阜県高山市上一之町75番地 Tel.0577-32-1205 Fax.0577-35-1970
<http://www.city.takayama.lg.jp/machihaku/>

時間 9:00~19:00 (休館日なし)

主催/岐阜県博物館・高山市教育委員会 後援/岐阜県教育委員会



お車でご来館の場合は
近隣の有料駐車場をご利用ください。



岐阜県博物館移動展

名前のヒミツ 教えます

—植物に隠された物語—

岐阜県博物館には、岐阜県内を歩きまわり、すべてを網羅して集められた植物標本が9万点以上保管されています。集められた標本は同定され、名前が付けられています。1つ1つの植物の名には発見者の思いや生活、感性が反映されており、由縁となる物語が存在しているのです。

イブキトリカブトやハクサンフウロのように岐阜県を代表する伊吹山、白山の名が付いた植物、ヒダキセルアザミやトウノウネコノメのように岐阜県の地名が付いた植物があります。また、スミレやハナイカダ、チングルマのように植物のからだの特徴から名づけられたものもあります。

本移動展では、飛騨を中心とした岐阜県で見つけることができる数多くの植物の名前の秘密を紹介します。



ミノコバイモ

美濃でよくみられるコバイモで、球根を乾燥させた形が二枚貝の殻に似ていることからバイモ（貝母）の名がついています。

ヒダキセルアザミ

高山市の長瀬秀雄氏が見つけた「飛騨」特産のキセルアザミです。キセルアザミという名は、花の形が煙管（キセル）に似ていることからつきました。



長瀬秀雄氏が見つけた
ヒダキセルアザミ（標本）（当館所蔵）



ギンリョウソウモドキ（レプリカ）（当館所蔵）

ギンリョウソウに似ているのでこの名がつきました。ギンリョウソウは漢字で「銀竜草」と書き、白く神秘的に咲く姿が、白銀の竜のように見えたことに由来します。